

国土交通省 清水港湾事務所 広報紙

みなとしみず

SINCE 1990. 6

発行



国土交通省 中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所田子の浦港事務所
総務課 屋敷弥生
静岡市清水区日の出町7番2号
Tel.054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>



清水港湾事務所100年のあゆみ

清水港湾事務所は、大正10年(1921年)に開設され、令和3年(2021年)に100周年を迎えました。

清水港湾事務所のはじまり

清水港湾事務所のはじまりは、「大型船が横づけできる埠頭を！」という地元からの声でした。

明治32年(1899年)8月、清水港が開港場⁽¹⁾に指定され、お茶の輸出をはじめとする貨物量の増加に対応するため、明治42年(1909年)から、静岡県による第一期修築工事が実施されました。

その後も貨物は増え続け、舢舨⁽²⁾(はしけ)による沖荷役だけでなく、大型船が接岸できる岸壁⁽³⁾が必要という地域からの強い要請を受けて、大正10年(1921年)に内務省直轄による清水港第二期修築工事の実施が決定し、同年10月1日、内務省横浜土木出張所清水港修築事務所を開設しました。

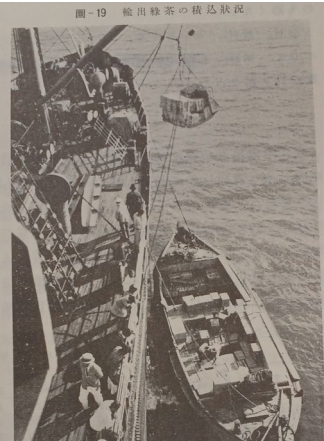
事務所開設から現在に至るまでの100年間、清水港、御前崎港、田子の浦港、下田港において、岸壁や防波堤⁽⁴⁾、航路⁽⁵⁾、泊地⁽⁶⁾などの整備を進めています。

開設当時の港湾整備事業

事務所開設当初、まず清水港埠頭(現:日の出ふ頭)を施工しました。

「清水港修築工事誌」(昭和13年6月内務省横浜土木出張所発行)から抜粋した当時の技術資料です。

物価や文字の違いなど、100年の歳月を感じます。



【100年前の荷役】大型船から舢舨(はしけ)と呼ばれる小型船に積み替えて、陸まで運搬していた。



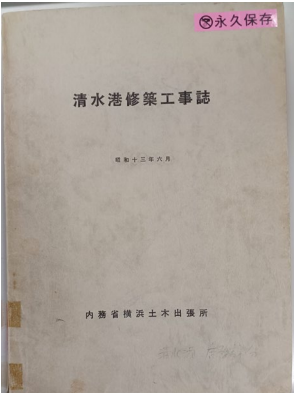
圖-12 巴川利用状況



【現在の荷役】大型船が横づけして、クレーンを使って陸に荷下ろしする。



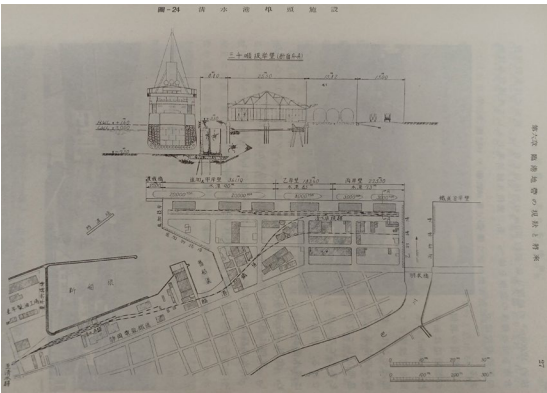
- (1)開港場 外国との通商貿易のために開放された港
- (2)舢舨(はしけ) 沖に停泊中の本船と陸地との間を往復して人や物を運ぶためなどに使われる荷船のこと
- (3)岸壁 船を接岸、係留させて、貨物の積み卸し、船客の乗降等の利用に供する施設
- (4)防波堤 波浪から港内を保護し、港内の静穏保ち荷役の円滑化、船舶の航行、停泊の安全及び港内施設の保安を図るために設ける施設
- (5)航路 船が出入りするために設けられ水路のこと
- (6)泊地 港湾内で船舶が安全に停泊することのできる水面のこと



清水港修築工事誌
(昭和13年6月発行)
内務省横浜土木事務所

表-1 清水港修築工事費算											
清水港修築工事費算											
種別	大正10年度	大正11年度	大正12年度	大正13年度	大正14年度	大正15年度	大正16年度	大正17年度	大正18年度	大正19年度	大正20年度
事業費	5,150,000	627,000	5,789,000	5,702,100	1,654,500	—	587,000	150,081	—	8,044,839	8,082,236
岸壁及埠頭費	1,207,800	158,200	1,219,475	1,186,152	532,700	—	699,575	12,500	—	1,071,292	1,203,292
防波堤費	1,270,000	—	835,200	815,800	547,400	—	—	—	—	1,256,540	1,256,540
埋立費	324,000	300,185	260,178	507,508	78,000	—	5,000	5,470	—	542,234	542,234
船舶機械費	—	—	—	—	—	—	—	8,580	—	19,500	—
船舶燃料費	1,415,000	177,500	2,448,207	2,448,207	310,000	—	44,097	38,200	—	3,229,029	3,229,029
停船費	100,000	—	153,559	153,559	15,000	—	—	1,300	—	145,888	145,888
土地収用費	394,500	—	383,459	383,459	—	—	—	—	—	573,593	573,593
薪炭費	390,210	12,055	22,493	171,499	86,889	—	19,031	10,587	—	693,811	693,811
共済組合給付金	320,000	40,000	380,000	454,500	1,014,000	—	5,400	30,000	571	81,734	82,024
雑費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	169,653	169,653
總計	5,000,000	877,000	6,177,000	6,177,000	1,800,000	—	630,000	150,393	3,119	8,637,469	8,677,469
御前崎港修築工事費算											
種別	大正10年度	大正11年度	大正12年度	大正13年度	大正14年度	大正15年度	大正16年度	大正17年度	大正18年度	大正19年度	大正20年度
事業費	517,810	483,171	192,000	—	—	—	39,000	—	—	482,200	—
岸壁及埠頭費	277,729	435,940	162,000	—	—	—	900	—	—	253,020	—
防波堤費	10,000	—	—	—	—	—	31,500	—	—	98,380	—
埋立費	10,800	—	—	—	—	—	—	22,000	—	—	—
船舶機械費	7,000	27,500	14,000	—	—	—	6,500	—	—	72,300	—
船舶燃料費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
停船費	9,571	10,171	13,800	—	—	—	—	—	—	10,000	—
薪炭費	2,700	4,000	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—
共済組合給付金	22,100	6,885	5,000	—	—	—	500	—	—	48,000	—
雑費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	340,000	503,054	197,400	—	—	—	4,200	—	—	482,200	—

清水港修築工事予算(大正10年度～昭和11年度)



清水港埠頭(現:日の出ふ頭)図面



現在の日の出ふ頭

「100年のあゆみ」を制作しました

100年という節目を機に、100年を振り返るパネルやパンフレット、動画を制作しました。

年表を使って、明治32年(1899年)の清水港開港から現在に至るまでを、世の中の出来事と並べて親しみやすく作っています。

清水港、御前崎港、田子の浦港、下田港の主要プロジェクトも豊富な写真や解説で紹介しています。

動画では、港湾工事の様子や活気あるれる港の様子がご覧いただけます。



パネル【全27枚】

動画【約7分】

パネル、パンフレット、動画は、清水港湾事務所 100 周年特設ページでご紹介しています→<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp/pickup-100th/>

地域の方からいただいた声

これまで清水港湾事務所が手掛けてきた主要プロジェクトの概要や、現在実施中のプロジェクトの進捗状況や見通しなどを整理・紹介し、関係者の皆様や一般の方々の港湾整備について幅広く知っていただくことを目的として、公共施設でのパネル展示や直轄事業報告会を開催しました。

70年以上もこの近所に住んでいるが、このような事務所があるとは知らなかった。

新聞でパネル展示を知って来てみたが、工事の内容や事務所の仕事を知る良い機会となった。



パネル展示(公共施設)

清水港湾事務所は、地元と一体となって難しい局面を開けてきた。

地域から大きな信頼を得ていることは、大切な財産である。



パネル展示(清水港湾事務所)

年表の緻密さに驚きました。

港の発展と時代の流れが一目瞭然で、整然と整理されており、歴史資料として、非常に興味深い。



直轄事業報告会

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時30分~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)
携帯電話からもご利用いただけます

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■このポスターに関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 総務課

TEL 054-352-4146

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp